

(4) ねずみ・衛生害虫等の防除

管理目標 ねずみ・衛生害虫等の発生を予防する

感染症を媒介するねずみ・衛生害虫等が発生しにくい環境づくりを行うことが必要です。

避難所内で見られるねずみ、ゴキブリ、蚊、ハエ、ダニ等は、感染症を媒介したり、刺されたり咬まれたりして皮膚炎やアレルギーの原因となったりします。また、大量に発生すると、不快であるばかりでなく、衛生的な生活環境を保つことが難しくなってまいります。

そのため、施設内の衛生的環境を保持するためには、適切なねずみ・衛生害虫等への対策を行う必要があります。被災者に対しては、ポスター（資料12）等により啓発をします。

管理のポイント

① ねずみ、昆虫等の生息調査の実施

生活区域やトイレ、ゴミ集積所等の周辺におけるねずみ・衛生害虫等の生息状況を確認します。

② 発生場所周辺の清掃

定期的に清掃と整頓を行い、食べ物等の残りを衛生的に管理します。

③ 侵入経路の防止

生活区域に蚊やハエ等が侵入するのを防ぐために、出入口や窓に網戸を設置します。

④ ねずみ・衛生害虫等発生時の防除対策

ねずみ・衛生害虫等の発生時には、被災者の健康に十分配慮した上で、防除対策を行います。

【解説】

① ねずみ・衛生害虫等の生息調査の実施

厨房や食品の保管場所、トイレ、ゴミ集積所、排水槽の周辺等は、ねずみ・衛生害虫等が発生しやすい場所です。発生場所を特定することで適確な発生予防対策を講じることができます。

② 発生場所周辺の清掃

食べ物や残飯等を衛生的に管理することで、ねずみ・衛生害虫等の発生を防止します。また、生活区域やトイレ、ゴミ集積所、排水槽の周辺等は、定期的に清掃を行い、常に整理・整頓を行うようにします。

夏季においては、バケツ、古タイヤ、空き缶及びブルーシート等に水が溜まらないようにし、ボウフラの発生を防ぎます。

③ 侵入経路の防止

生活区域に蚊やハエ等が侵入するのを防ぐために、出入口や窓に網戸を設置します。

④ ねずみ・衛生害虫等発生時の防除対策

ねずみ・衛生害虫等の発生時には、被災者の健康に十分配慮した上で、防除対策を行います。

特に、薬剤を用いた防除を行う場合は、避難所内に作業実施日時、作業方法等を十分周知に努めるとともに、使用後は必要に応じて強制換気、清掃等を行います。

ア ねずみの防除方法

作業項目	作業内容
1 毒餌処理	① ねずみの生息場所、通路、餌場、休息場所等に毒餌皿に入れて配置する。なお、食料品に混入するおそれのある箇所、子どもやペットがいる場所では、毒餌箱に入れて配置するなど安全に配慮すること ② 毒餌が飛び散り、食品に混入するおそれのあるところでは使用しないこと ③ 喫食がみられる間は、引き続き点検することが望ましい ④ 終了後、毒餌は回収する
2 粘着トラップによる防除	① ねずみが出没する箇所に夜間配置し、始業前に回収する なお、生息数の多い場所では1枚/m ² 以上配置する ② 天井裏等侵入のおそれのある箇所に配置する
3 捕そ器による防除	① 圧殺式トラップ（パチンコ）又は生捕り式トラップを配置する ② 人が出入りする箇所では、安全に十分配慮し取り扱いに注意する なお子どもが触れるおそれのあるところには置かないこと。設置した場所には注意を促す掲示をすること ③ 天井裏等侵入のおそれのある箇所に配置する

	④ 終了後は、捕そ器を速やかに回収する
4 忌避剤による防除	カプサイシンまたはシクロヘキシミドを含有する液剤、エアゾール剤、防そパテなどを、かじられては困る場所に処理をする

【クマネズミ】



【ドブネズミ】



【ハツカネズミ】



イ ゴキブリの防除方法

作業項目	作業内容
1 吸引	ゴキブリが集団で潜む場所を発見し、掃除機で吸引する
2 毒餌処理	ゴキブリ用ベイト剤又は容器入りのものを配置する
3 殺虫剤の散布処理	ゴキブリの生息場所となる隙間や割れ目、徘徊場所に重点処理する
4 ULV処理	ピレスロイド系の水性乳剤を用法、用量に基づいて、電動式ULV機、ノズル式ULV機、炭酸ガス製剤噴出機等により処理する
5 蒸散剤の散布処理	ジクロロボス樹脂蒸散剤をセットした蒸散剤殺虫機により、用法・用量・使用上の注意に基づいて室内に薬剤を充満させる

【クロゴキブリ】



【チャバネゴキブリ】



【ワモンゴキブリ】



ウ 蚊、ハエ・コバエ類の防除方法

作業項目	作業内容
1 殺虫剤の散布処理	幼虫が発生する水域に薬剤を用法用量に基づいて散布する
2 ULV処理	成虫の発生しているマンホール内部及び飛翔区域にピレスロイド系の水性乳剤をULV機、ノズル式ULV機、炭酸ガス製剤噴出機等により処理する
3 蒸散剤による処理	ジクロルボス又はピレスロイド系の樹脂蒸散剤を用法、用量に基づいて、マンホール内部に吊るす
4 ライトトラップによる防除	発生のおそれのある区域には、粘着シートライトトラップを設置する

【アカイエカ】



【セスジユスリカ】



【ヒトスジシマカ】



【ホシチョウバエ】



【イエバエ】



☆参考☆ 虫さされの対処法について

虫さされとは、虫に刺されることによって、皮膚の表面に起こる搔痒や発疹のことを総じて言います。多くは、痒みを伴う発疹を作ることが多いと言われていますが、虫の種類によっては、急激なアレルギー反応を起こし、死に至ることもありますので注意が必要です。

基本的には痒みがあっても搔いたりせず、患部を冷やしたり、かゆみ止めを塗ることで応急処置をしますが、状況に応じて救護所等で医師の診断を受ける必要があります。虫によって、その症状や対処法が異なりますので、以下を参考にしてください。

種類	症状	対処法
蚊	<ul style="list-style-type: none"> ・刺された箇所がアレルギー反応を起こし、赤く腫れ上がる ・多くは痒みにとどまり、出血を伴うことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・患部を水等で冷やし、搔かないこと ・抗ヒスタミン薬やステロイド薬も効果的
虻	<ul style="list-style-type: none"> ・刺された瞬間、皮膚に激しい痛みを引き起こし、さらに2、3週間激しい痒みを生じる ・出血を伴うことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・患部をきれいな水で洗い流し、止血を行うこと ・患部を冷やしてから、ステロイド成分を含有した抗ヒスタミン剤を塗る
ハチ	<ul style="list-style-type: none"> ・刺された箇所が激しく痛み赤く腫れ上がる ・症状が出るまでに数日かかることもある ・アレルギー体質の人では、アナフィラキシーショックを引き起こすことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・刺されたらすぐに医師を受診する ・応急的に傷口から毒を絞り出したり、冷やしたりして毒の循環を遅らせる ・抗ヒスタミン薬やステロイド薬が効果的
ムカデ	<ul style="list-style-type: none"> ・咬まれると溶血性毒やヒスタミン様物質が患部に拡がり、赤く腫れ上がり、激しい痛みを伴う ・アレルギー体質の人では、アナフィラキシーショックを引き起こすことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急的に傷口から毒を絞り出したり、冷やしたりして毒の循環を遅らせる ・抗ヒスタミン薬やステロイド薬が効果的 ・症状によっては、医師の受診が必要